

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 【陶芸研究分野】

平成 27 年 2 月 13 日

### 注意事項

- ・ 携帯電話等の電源は切っておくこと。
- ・ 写真撮影等、一切の記録を禁止します。
- ・ トイレに行く際は必ず受験票を携帯すること。
- ・ 与えられた問題用紙、草案用紙等は持ち帰らない。
- ・ 午後の試験は 13:00 からです。

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 【陶芸研究分野】

平成 27 年 2 月 13 日

本日の試験は下記の時間割で行います。

■ 実技試験① / 第 1 試験場（陶芸研究室）

10:00 ~ 12:00

◇ 昼食 / 屋外または第 2 試験場（オープンアトリエ）でとってください。

昼食後、12:50 第 2 試験場（オープンアトリエ）集合

■ 実技試験② / 第 1 試験場（陶芸研究室）

13:00 ~ 14:00

■ 筆答試験 / 第 2 試験場（オープンアトリエ）

14:20 ~ 17:00

■ 面接 / 第 1 試験場（陶芸研究室）

※面接は筆答試験中に受験番号順に行います。

（時間割参照）

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科 (修士課程・第 2 期)

入学者選抜試験 [陶芸研究分野]

平成 27 年 2 月 13 日

## 実技試験 ①

(10:00~12:00)

「これから挑戦したい陶芸作品を想定した立体 (マケット) を粘土で制作し、その完成予想図とコンセプトを B3 ボードに書きなさい。」

### 注意事項

- \* 想定した立体 (マケット) は轆轤で制作してもよい。
- \* 受験票は受験番号札の横に置きなさい。
- \* B3 ボードの裏右下に受験番号を記入しなさい。
- \* B3 ボードは加工しない。縦、横は自由とする。
- \* 粘土はすべて使わなくてもよい。
- \* B4 用紙は草案用紙として使用しなさい。
- \* 草案用紙は持ち帰らない。
- \* 持参した用具一式と用意された道具を用いなさい。

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 【陶芸研究分野】

平成 27 年 2 月 13 日

## 実 技 試 験 ②

（13：00～14：00）

「白土 10 kg を用い 轆轤引きにより

張りのある美しい大壺を八角亀板の上に制作しなさい。」

### 注意事項

- \* 受験票は受験番号札の横に置きなさい。
- \* 別に用意された粘土（1 kg）は八角亀板をとめるために使うこと。
- \* 与えられた道具のみ使用する。
- \* 高台の削りしろを残しておく。
- \* 引き終えた壺は轆轤の天板からはずし、通路側に置きなさい。

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験【陶芸研究分野】

平成 27 年 2 月 13 日

## 筆 答 試 験

(14 : 20 ~ 17 : 00)

問 1 「陶芸の魅力」についてあなたの考えを 1200 字以内で述べなさい。

問 2 以下の用語 5 題について説明しなさい。

- ① 還元焰(炎)焼成
- ② 染付
- ③ カオリン
- ④ 水簸
- ⑤ 穴窯

問 3 以下の用語 10 題の中から 5 題を選択し説明しなさい。

- ① 上絵付け
- ② 長石
- ③ 象嵌
- ④ 鉄釉
- ⑤ 磁土
- ⑥ フリット
- ⑦ 備前焼
- ⑧ スリップウェア
- ⑨ 富本 憲吉
- ⑩ 鈴木 治

### 注意事項

\* 解答は解答用紙に答えなさい。

\* B4 用紙は草案用紙として使用しなさい。持ち帰ってはいけません。

平成 27 年度 東京藝術大学大学院美術研究科 (修士課程・第 2 期)

入学者選抜試験 [陶芸研究分野]

平成 27 年 2 月 13 日

## 面接 時間割

受験番号 1 番 14 : 25 ~ 14 : 35

受験番号 2 番 14 : 40 ~ 14 : 50

受験番号 3 番 14 : 55 ~ 15 : 05

受験番号 4 番 15 : 10 ~ 15 : 20

受験番号 5 番 15 : 25 ~ 15 : 35

受験番号 6 番 15 : 40 ~ 15 : 50

受験番号 7 番 15 : 55 ~ 16 : 05

受験番号 8 番 16 : 10 ~ 16 : 20

受験番号 9 番 16 : 25 ~ 16 : 35

受験番号 10 番 16 : 40 ~ 16 : 50